

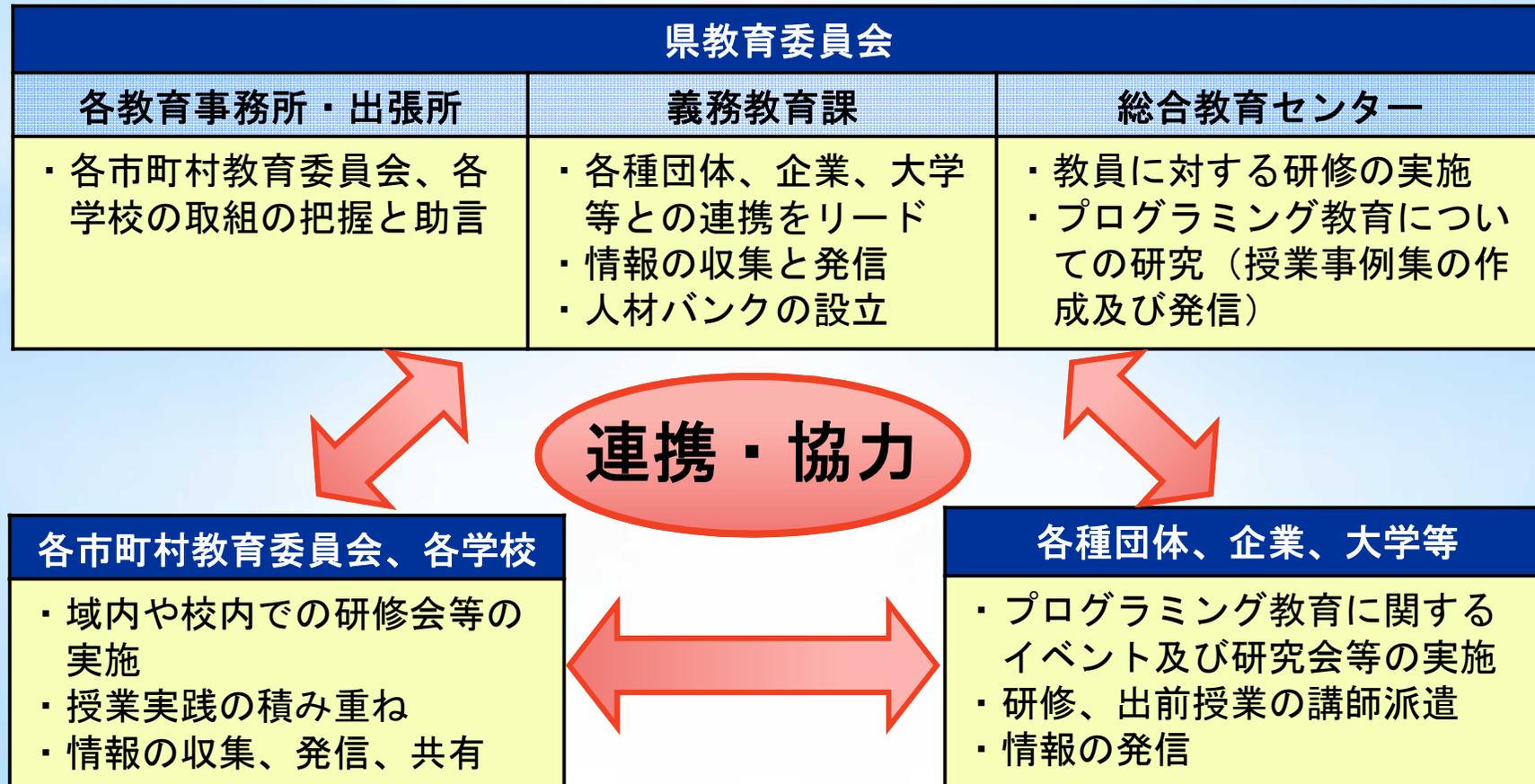
小学校プログラミング教育への取組（概要）

秋田県教育委員会

新学習指導要領における情報教育の強化

（小学校は2020年度、中学校は2021年度、高等学校は2022年度から実施）

- ・「情報活用能力」を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」として新たに位置付け、育成
- ・情報活用能力の育成を図るため、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図ることに配慮
- ・小学校でプログラミング教育を必修化するなど、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実



小学校プログラミング教育実施までの流れ

秋田県教育委員会

秋田県教育委員会の取組

2018年度

小学校新教科書
検 定

- ・ 取組体制の整備（義務）
- ・ 各種団体等との連携・協力及び情報の収集と発信（義務）
- ・ 教員に対する研修の実施（総セ）

2019年度

小学校新教科書
採 択

- ・ 講師派遣、情報提供等による校内研修会等への協力（義務）
- ・ 教員に対する研修の実施（総セ）

2020年度

小学校プログラミング教育
全面実施

- ・ 教員研修、校内研修会等への協力の継続（義務・総セ）

2020年度までに
小学校教員がA
の項目について
不安なく実践で
きるよう支援

各学校へ情報提供

各教科の特質に応じて 計画的に実施（総則より）

- ・ 児童が文字入力などの基本的な操作を習得するための学習
- ・ 児童がプログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付けるための学習

※中学校においては、技術・家庭科（技術分野）でプログラミング、情報セキュリティに関する内容を充実

※高等学校においては、情報科において共通必修科目「情報Ⅰ」を新設

小学校段階のプログラミングに関する 学習活動の分類(例)

A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの

B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの

C 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの

D クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの

E 学校を会場とするが、教育課程外のもの

F 学校外でのプログラミングの学習機会

教育課程内

教育課程外

文部科学省「小学校プログラミング教育の手引（第2版）平成30年11月」より作成